

佐々木 孝夫

蓄音機で聴く「宮沢賢治とジャズ」、「賢治と仙台」

1, 「賢治と音楽(ジャズ)」との出会い

♪1 「岩手軽便鉄道 七月(ジャズ)」／朗読 with BGM (♪ガボット／鈴木慎一)

2, ジャズが登場する作品

①「ポランの広場」 キャット・ウィスカー(ディキシーランドジャズ曲)

②「セロ弾きのゴーシュ」 “愉快的な馬車屋ってジャズか”

Livery Stable Blues(馬小屋のブルース)

♪2 デセクレーション・ラグ Desecration Rag／フェリックス・アルント 1914年作品

「火薬と紙幣」『春と修羅』 1923年9月30日

…鳥は一ぺんに飛びあがって

ラツグの音譜をばら撒きだ

***ラツグとは Ragtime のことです。**

飛び上がった鳥がラグタイムの音符のようにばらばらあちこちに飛び跳ねる。
といった表現で使われている。

*ドビュッシー ♪ゴリウオーグのケーキウォーク「子供の領分」(1908年)

3, 「ポランの広場」

「ポランの広場」第2幕

時、千九百二十年代、六月三十日夜、 処、イーハトヴ地方、
人 物、キュステ 博物局十六等官、ファゼロ ファリーズ小学校生徒、 山猫博士、牧者
葡萄園農夫、衣裳係、オーケストラ指揮者、弦楽手、鼓器楽手、給仕
其他 曠原紳士、村の娘 大勢、
ベ ル、人数の歓声、Hacienda, the society Tango のレコード、オーケ ストラ演奏、
甲虫の翅音
幕あく。……

と、ト書にあるように幕開け前の曲としてタンゴの曲♪ Hacienda, the society Tango のレコードが演奏される。

♪3 アシエンダ、ザ・ソサエティ・タンゴ Hacienda, the society Tango

／フェリックス・アルント

さらに、劇中登場する猫博士は広場で演奏をしているオーケストラに向かって
…(オーケストラはじまる。)

山猫博士「おいおいそいつでなしにキャッツホヰスカアといふやつ をやってみてほしいな。」

楽長 「冗談ぢゃない、猫のダンスなんて。」

山猫博士「やれ、やれ、やらんか。」

(オーケストラはじまる) ……

♪4 キャット・ウィスカー The Cat's Whiskers

／シカゴ・ベンソン・オーケストラ 1922年作品

- 牧者の歌 Flow Gently, Sweet Afton アフトンの流れ /オリーブ・クライン
- つめくさの花の咲く晩に In the Good Old Summertime /ハイドン・カルテット
- ポラーノの広場の歌 Ihatov Farmer's Song(賛美歌448)

4、「セロ弾きのゴーシュ」

子狸が現れるシーン、背中にくり付けてきた楽譜を見てゴーシュが “ 何だ愉快的な馬車屋ってジャズか”という場面がある。

♪5 リバリー・スティブル・ブルース Livery Stable Blues(馬小屋のブルース)

／オリジナル・ディキシランド・ジャズバンド 1917年作品

5, 1920年代米国は Roaring Twenties=狂騒の20年代

日本文学に初めてジャズを登場させたのは賢治??? 谷崎潤一郎 随筆「港の人々」1923年

♪6 ウィスパリング Whispering /ポール・ホワイトマン 1920年作品

♪ JAZZ ME BLUES / ビックス・バイダーバック 1927年作品

6, 賢治作品に登場するジャズとシカゴ。なぜ?

*農学校時代、賢治と相思相愛だった大畠ヤス 「宮沢賢治 愛のうた」/澤口たまみ 2018年

「春光呪詛(じゆそ)」『春と修羅』より 大正11年4月10日

…髪がくろくてながく しんとくちをつぐむ…

頬がうすあかく瞳の茶いろ ただそれつきりのことだ

*なぜか教諭時代の書簡が残っていない ?

7、「セロ弾きのゴーシュ」

♪7 印度に虎狩りにですって「セロ弾きのゴーシュ」

／ニュー・メイフェア・ダンス・オーケストラ 1931年作品

牧野富太郎－鳥羽源蔵－宮沢賢治

5月21日河北新報朝刊に、植物学者牧野富太郎が陸前高田出身の同じ植物学者鳥羽源蔵にあてた手紙が陸前高田市の博物館で展示されているという話題が紹介された。牧野富太郎といえば今放送中のNHK連続テレビ小説「らんまん」のモデルになった人物だ。手紙の内容から同じ植物学者としての二人の交友を伺うことができると書いてある。

鳥羽は、1922年(大正11年)5月には岩手県師範学校教諭心得となり、1928年(昭和3年)には岩手県師範学校(現在の岩手大学教育学部)教諭となるが、この時代に宮沢賢治と交流がある。

1922年(大正11年)、盛岡で毒蛾の大量発生という出来事があり、鳥羽は岩手日報、岩手毎日新聞などにその実態調査について寄稿していた。それを読んだ賢治は、それを題材に作品『毒蛾』、『ポラーノの広場』では「五、セングード市の毒蛾」として描いている。また同じ年の8月、賢治は花巻高等女学校の教諭藤原嘉藤治が鳥羽と交友があることを知り、イギリス海岸で見つけた偶蹄類やクルミなど様々な化石の鑑定を依頼する。そしてそれらの化石は鳥羽を介して東北大の早坂一郎助教授に手に渡り、早坂助教授は1925年(大正14年)に、賢治が説明案内役を務め、イギリス海岸で実地調査を行なった。その結果は「地学雑誌」に論文「岩手県花巻町化石胡桃に就いて」として発表され大きな評価を得ることになる。

このように牧野富太郎と鳥羽源蔵、そして賢治が繋がっていたとは興味深い。賢治作品『猫の事務所』には、「トバスキー酋長」「ゲンゾスキー財産家」の名前が登場する。もちろん鳥羽源蔵からいただいたネーミングだ。なんとも鳥羽のイメージが伝わってくるようでおもしろい。

1、『ポラーノの広場』の「五、セングード市の毒蛾」について

その舞台は柳町、サンモール一番町界隈

2, 1922(大正11)年8月の仙台行き

賢治の生徒のひとりで何事にも積極的だった宮沢貫一と仙台へと出かけます。

その宮沢貫一の話によると、

「私は花巻駅を宮沢先生よりも一列車早く出発して、途中下車、平泉で遊び次の列車を待つて先生と一緒に仙台に行った。イギリス海岸を愛称した北上川畔で見つけた偶蹄類の足跡、化石などの標本を先生は持っていかれた。仙台に着いたときは暗くなっていた。持参した標本を東北大学にあずけ、それから東一番丁の盛り場を人波にもまれながら本屋をあさり、楽しみにしていたレコードを先生は何枚か買い求めた。それから映画を観て仙台駅前に宿をとった。

遅くなっただけでも二人は夕食をとるため夜の街に出て、小さいが粋な造りの割烹店の二階で夕食をすませ、静かになった街をぶらついて帰り休んだ。

翌朝一番列車で塩釜に行き、塩釜神社に参拝してから遊覧船に乗って松島にでることにした。」

『宮澤賢治先生～イーハトーブ農学校の1580日～』佐藤成(ひとし)著 農文協 より
ところが、塩釜湾をでたところで遊覧船が転覆。……

宮沢賢治、仙台にまつわる覚書(参考)

- 1, 小学生の賢治が仙台への修学旅行で見た初めての大海原
- 2, 「ポラーノの広場」の舞台となったセナード(仙台)
- 3, 1922年、仙台・一番町をぶらり闊歩
- 4, 度々訪れていた仙台(書簡より)。

例えば、

大正七年、盛岡高等農林学校卒業後、地質土壤肥料研究のため高農研究生として実験指導補助を務めていたころの六月九日、父政次郎にあてた手紙には、

仙台停車場ニテ 賢治拝

「拝啓、只今予定の如く左の書物を探し得て当地六時五十分発の汽車にて帰盛致す処に御座候。
(四冊の書物名は省略、いずれも古書にて定価より安く手に入ったことを明記)

外に丸善にて フィドレイ著 相律及びソノ応用 三・五十円 を相求め尚本年中に二冊丈海外より着荷次第求むる様致し置き候。」とある。 *校本・宮沢賢治全集 第十三巻 75P (筑摩書房)

昭和三年六月七日、父政次郎に仙臺駅にてあてた手紙には。

「十一時仙臺へ着きましてすぐ博覧会へまゐりました。水産加工品は特に注意して数回みましたがたがだいまのところはいかにも原始的なものばかりで仕事の余地は有り余るとは思われますが、確かに今後の数年の間には、一方で著しく進んでいる菓子その他精製工業の技術から影響を受けて細かなものは沢山出るやうになると存じます。……大学も見せてもらいました。阿部末吉氏には掛けちがって会えませんでした。また文学の方の教授たちと古本屋で浮世絵をいじちっているうちに知り合いになったりもいたしました。……」 *

宮沢賢治全集「別巻」昭和十九年 十字屋書店発行

六月一三日東京から伊豆諸島への旅行の途中仙台に立ち寄った。その途中に東京では丸善に寄ったり、浮世絵や歌舞伎(明治座)を鑑賞、神田の日活館で田中豊明指揮日活管弦楽団の「謎のトラック」を聴いた。

東北碎石工場技師時代にも

- 5, 賢治を看取った草刈兵衛

先の主治医であった佐藤長松博士の辞職にともない昭和6年10月10日からは新しく花巻(共立)病院に赴任した草刈兵衛博士が主治医となった。昭和8年賢治が亡くなる前日9月20日に最終診断を下した方でもあります。主治医になってから、俳句・連句を通じて賢治と交友があったとされている。仙台の「草刈内科医院」現院長・草刈拓さんの祖父。父は草刈兵一郎さん。